

絵描きの顔には、
本当に、満足そうな微笑みが残っていました。



コップの雨水は、
すっかりこぼれてしまいましたけれど、
絵描きは、
しっかりとそのコップをもったままでありました。

村山亜土作『夜の絵』とともに
柚木沙弥郎展
YUNOKI Samiro

①《夜の絵》より 2005年 布、コラージュ、紙 39.6×23.8 cm 神奈川県立近代美術館
(文・村山亜土)

2012年4月7日(土)–6月10日(日)

神奈川県立近代美術館 鎌倉別館

〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下 2-8-1 Tel. 0467-22-7718

開館時間：午前9時30分–午後5時 [入館は午後4時30分まで]

休館日：月曜日 [4月30日は開館]

観覧料：一般250(150)円、20歳未満と学生150(100)円

65歳以上と高校生100円

※()内は20名以上の団体料金です。

※中学生以下および障害者手帳をお持ちの方は無料です。

※ファミリー・コミュニケーションの日：

毎月第1日曜日(今回は5月6日と6月3日)は、

18歳未満のお子様連れのご家族は、優待料金

(65歳以上の方を除く)でご観覧いただけます。

主催：神奈川県立近代美術館

Press
release
報道用資料
2012年2月

■柚木沙弥郎氏によるアーティスト・トーク

日時：5月12日(土) 午後3時–4時

会場：神奈川県立近代美術館 鎌倉別館

*申込不要、無料

(ただし「柚木沙弥郎展」の観覧券が必要です)

■学芸員によるギャラリートーク

日時：5月19日(土)、6月9日(土)

各回午後2時–2時30分

会場：神奈川県立近代美術館 鎌倉別館

*申込不要、無料

(ただし「柚木沙弥郎展」の観覧券が必要です)

■無料開館日 5月18日(金)「国際博物館の日」

この日は神奈川県立近代美術館で開催中の3つの
展覧会を無料でご観覧いただけます。



■お問い合わせ先

神奈川県立近代美術館 鎌倉

〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下 2-1-53

Tel. 0467-22-5000 / Fax. 0467-23-2464

広報担当：山内、長島

展覧会担当：朝木

■プレスリリースおよび展覧会情報は、
美術館ホームページでもご覧いただけます。
<http://www.moma.pref.kanagawa.jp/>



ゆのき きみろう

今年 90 歳を迎える染色作家、柚木沙弥郎の新作を含む展覧会です。柚木は 1922 年、東京・田端に生まれました。祖父・玉邨は南画家、また父・久太は洋画家と芸術的な環境に育ち、東京大学で美学美術史を学びますが、第二次世界大戦が勃発し、学徒出陣しました。復員後、父祖の郷里である倉敷の大原美術館に勤めた柚木はそこで、柳宗悦らの提唱する「民藝」に出会い、芹沢銈介に師事するなかで染色の道を歩み出しました。しかし「民藝」を基点としながらも、柚木の世界には型にとらわれない、自由な精神の飛翔ともいべきユーモラスな軽みが感じられるでしょう。長年の制作を経て到達した鮮やかな色彩と躍動する形の調和の世界――。

本展では型染布とあわせて、作家が精力的に取り組んできた本の仕事も紹介いたします。
村山^{あど}垂土 (1925-2002) は画家・劇作家・演出家の村山知義と詩人・童話作家の^{かづこ}篝子の長男として東京に生まれた児童劇作家です。柚木と村山垂土との「出会い」は、垂土の死後に始まります。《トコとキキとグーグー》(2004 年) や《雉女房》(2005 年) は、柚木が村山垂土の遺稿をもとに制作した絵本や水彩素描です。また、シリーズ《夜の絵》(2005 年) では、小さな布のコラージュが言葉に触れ合うように施されています。光があとかたもなく消えてゆく夜への鎮魂が、「雨だれ」の響きとなって伝わってくるでしょう。



②《雉女房》より 2005 年 水彩、紙
42.5×57.0 cm 神奈川県立近代美術館



③《夜の絵》より 2005 年 布、コラージュ、紙
39.6×23.8 cm 神奈川県立近代美術館

雨の音は、まるで美しい音楽のように、
そしてたった一人のさびしい絵描きに
昔の楽しかった思いをささやくようでありました。
コップの雨水のなかには、
それはそれは美しい夜の空の景色が
映っているではありませんか。



④《夜の絵》より 2005 年 布、コラージュ、紙
39.6×23.8 cm 神奈川県立近代美術館



⑤ 型染布 2004 年 綿 304×59 cm
個人蔵



⑥ 型染布 1982 年 綿 300×110 cm
神奈川県立近代美術館



⑦ 型染布 1982 年 綿 300×114 cm
神奈川県立近代美術館